

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
周辺環境対策について		
1	工事が長期間になるので、工事の振動・粉塵対策として、事業地北側の市道からの工事車両の入出場や、場内通路の舗装など具体的な対策を取ることに。	工事車両の通行ルートについては、周辺の交通状況調査の結果を踏まえ、他の交通に最も影響が少ないルートを選定しています。 振動対策としては、車両通行ルートに砕石や敷き鉄板を設置するなど、適切な対応を検討し、対策しながら工事を進めてまいります。
2	仮囲いは、高くすることで騒音・振動・粉塵対策の効果が上がるので、高くしていただきたい。	仮囲いへの防音シートの設置を検討します。 粉塵の発生を完全に無くすことはできませんが、できるだけ対応します。
排水対策について		
3	最近は大雨時の雨量が非常に多い。排水計画について具体的に説明いただきたい。	公園整備以前は北向きに排水していましたが、当公園は、防災拠点でもあることから、大雨時に水に浸からないよう南側に勾配を持たせて盛土することで、基本的には旧港湾に排水します。（一部は大黒川、大洞川に排水します。） なお、公園から旧港湾への県道横断函渠は、大面積のBOXを2本、メインエントランス付近にもやや小型の管を1本設置して対応します。
4	想定する排水量は50年確率のものか。昨今の雨に対応できず、公園北側の農地に流れては困る。	北方向に流れることはありません。
地下水への影響について		
5	地盤改良工事のセメントが施工後すぐに流出することはないか。	施工後に流出することはありません。
6	造成工事で柱状改良を施工することで、地下水が周囲の土地に流れ、水がつくようになる場合がある。第3種陸上競技場の柱状改良の下地下水は、どこに流れるのか。	事業地周辺の住宅地で井戸調査を行っておりますので、調査結果を見て状況を確認してまいります。
7	工事完了後も5～6年は地下水の調査を継続すべき。	工事後も調査を継続してまいりたい。
連絡橋について		
8	連絡橋の計画の説明は、いつ行われる予定か。	近日中に概略設計が完了しますので、次回の説明会では概要をお示しできる予定です。

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
土砂の搬入について		
1	土砂の搬入は、9:00～16:30までの間に約100台もダンプが通るとのことだが、安全面で支障はないのか。	トンネル工事100台以外にも購入した土砂の搬入があり、一日にのべ150台程度になると見込んでいます。このうち100台は、5分に1台程度の通行間隔を想定しており、安全面での支障はないと見込んでいます。
2	事業用地への搬入経路を左折イン・左折アウトとしているが、彦根城南側など交通量が多い地域を通過するので混雑にならないか心配だ。	先に行いました解体工事と同様に、地域の皆さんの意見や彦根市との協議結果を踏まえたもので、右折インは渋滞の原因となるため、安全性を考慮した上で、左折イン・左折アウトを原則として搬入経路を定めました。
3	公園南側の4車線県道に右折だまりを設置し、右折インとするなど他の経路を検討してほしい。	いただきました御意見を踏まえ改めて検討させていただきます。 ※検討の結果、県道彦根米原線を北上し、湖岸道路を経て入場する経路に改めました。
擁壁および横断函渠工事について		
4	城北小学校や近江高校の排水はどのようになるのか。県の公園との間に擁壁を設置することで段差が生じ、排水の妨げになって、雨水が流れなくなることはないのか。	城北小学校の暗渠排水路は、学校の西側にあります。また、擁壁の北側にある校庭にU字溝がありますので、擁壁を設けても排水に影響はありません。 近江高校との境界部には以前から擁壁が設置されています。今回の整備は、公園敷地に盛土することに合わせて擁壁を高くするものですから、これまでと排水に変更はありません。
5	城北小学校は、緊急避難所に指定されている。擁壁が設置されることで旧市民体育センターの駐車場から小学校への緊急時の動線はどのようになるのか。	城北小学校の西側に約50cmの段差に合わせた階段と、フェンスに門扉を設置し、その部分から行き来できるよう小学校や彦根市教育委員会と協議しています。
6	野球場の北側に大洞川に放水されている水路があるが、降雨時に当水路から茶色い水が大洞川に注いでいる。どこから流れてくる水なのかかわからないので、調査していただきたい。	ご意見いただきました排水については、これまで把握していません。公園の排水系統を改めて見直し確認します。
連絡橋について		
7	連絡橋の工事が年度当初の予定から遅れているようだが、連絡橋の整備スケジュールに変更はあるのか。	当初は、令和元年度に工事を発注し、令和2年度に完成する予定でしたが、現時点では、令和3年度末までの完成を予定しています。
8	現在供用されている歩道橋は、いつ撤去されるのか。	連絡橋の完成後、現歩道橋の機能を確保した後に撤去します。
9	自転車は、連絡橋を通れるのか。	連絡橋は、歩行者を優先しており、自転車を降車、押していただくことで、スムーズに行き来できるよう検討しています。
10	彦根城との間の旧港湾を渡ることができるのか。	県道と旧港湾を渡っていただけます。
11	連絡橋を整備する必要性について説明いただきたい。	県と市の公園を連絡橋で繋ぐことで、お互いの公園利用者が回遊できることから、彦根城の観光客が県の公園の駐車場を利用するなど、県市それぞれの施設を有効に活用できます。
安全対策等について		
12	工事にあたっての住民の安心、安全、環境対策について説明いただきたい	工事の施工にあたり、低騒音・低振動型建設機械の使用や、場内での車両走行速度の抑制、粉塵発生の抑制等の対策を実施します。
13	公園東側住宅団地の近くに駐車場ができるが、公園への経路として住宅地に地域住民以外の車輛が入ってきたら困る。	駐車場への進入路は、公園の北側、西側、南側それぞれに設置しますが、東側については車両の入口はなく、歩行者が通行可能な入口のみ設置します。

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
14	公園整備後も住宅地への車両の通行は、今と変わらないと考えてよいのか。	現状と変わりません。駐車場への進入路が限られることから、公園東側に入ってくる車輛が現状より少なくなる可能性があります。
その他		
15	近江高校東側の道路が閉鎖されることで、グリーンハイツから小学校に行く場合、一旦北上して迂回するため遠回りになる。小学校に至る最短経路は、どこになるのか。	公園内に園路を設けますが、公園内は24時間通行可能ですので、公園内を通して小学校に行くことができます。
16	工事に関する問い合わせは、どこに連絡すればよいか。	資料にそれぞれ連絡先を記載していますが、県の国スポ・障スポ大会課や、工事に関するお問い合わせについては、主に都市計画課にお問い合わせください。現場には施工業者が常駐していますので、緊急の場合はそちらに連絡してください。
17	国スポを開催するために多額の費用がかかっており、強制収用があったとも聞いているが、国スポのためにそこまでしなければならないのか。既存施設を活用して、お金をかけないようにしてほしい。	強制収用は行っておりません。一部報道で強制収用の可能性について触れていましたが、工事に必要な土地は、地権者の皆様に了解いただいた上でお譲りいただきました。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
松原町大黒前鴨ノ巣線道路改築工事について		
1	自転車に乗車した高校生が多数通行するが、自転車通行帯と車道の間に構造物を設置して仕切る等の安全対策をしてほしい。道路が整備されると交通量が増えるので、歩行者と自転車、車を完全に分離してほしい。	自転車通行帯は、白線で区分します。この部分は路肩の機能を含むため、構造物を設置することはできません。また、構造物を設置することで危険が生じる場合もあります。ただし、交差点付近は構造物を設置し、安全対策をする予定です。直線部分については、目印を設置する等の安全対策について、引き続き警察と協議をしてまいります。
大黒川改修工事について		
2	事業区域北側のマンション付近と大黒川改修区間との接続部の断面図を見せていただきたい。	現在は計画中のためお示しできません。
3	事業区域北側のマンション付近の南側部分に松原ニュータウンからの排水溝があるが、台風等の際には、住宅地内に水が逆流してくる。	マンション付近の南側からも護岸改修を行います。排水溝を設置し、住宅地側に水が流れないように対策を行いますが、詳細については、今後説明させていただきます。
大洞川改修工事について		
4	大洞川沿いの農道を整備する予定はあるのか。	大洞川の護岸工事を実施した後に、道路整備します。
5	農道の整備後は市道になるのか。	現在は土地改良区所有の農道ですが、土地改良区の協力を得られれば、将来的には市道になります。
6	農道の道幅はどれくらいになるのか。	現在の農道の幅と同じです。
7	公園整備によって、農道に一般車が進入してくることを心配している。農道の機能は、どのようなものか。	現在の農道の機能と変わりません。
8	5月に開催された説明会の内容から変更はあるのか。	今年度から工事を行う予定でしたが、県の事業と調整した結果、次年度以降に工事を行うこととしました。
その他		
9	市の金亀公園にメタセコイアが20本ほど植えられているが、県内の公園内に同樹種が植えられているのは珍しい。破壊すると回復できないので、再整備にあたり残すよう要望する。	金亀公園の整備では、老朽化している野球場を多目的広場として整備しますが、メタセコイアについては、現状のまま残す予定です。 市の金亀公園整備については、今後、連絡橋整備について説明する機会に改めて説明させていただきます。

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
金亀公園整備基盤工事について		
1	工事車両の出入口等に警備員を配置しているが、北側の学校前の市道に警備員を配置しないのか。	北側の市道部分は今回の工事対象範囲外であるため、工事車両の出入りはありません。
2	仮囲いを設置する際にも警備員を配置しないのか。	仮囲いを設置する際には警備員を配置します。
3	工事現場を囲い外部から見えない空間を作ることは、児童の連れ込みなど防犯上不安がある。	工事区域の周囲に仮囲いを設置することで外部からの侵入を防止し、安全が図れます。 仮囲いは、高さ3mの白色のフェンスとなりますが、小学生の絵を貼ることも検討します。
4	埋め立て後の地盤高はどれくらいになるのか。	埋め立て後は、2m～2.5m程度地盤が上がります。第3種陸上競技場の部分は、現状から2.2m上がる予定です。北側の市道より高くなりますが、市道の地盤高も上がります。 当公園は、防災公園として位置づけており、琵琶湖の洪水時に水没しないよう整備します。
5	近江高校通学路に警備員を配置するのか。この通学路は、周辺の道路とどのように繋がるのか。	工事中は警備員を配置します。 近江高校通学路は、現状の通学路をそのまま維持し、一部公園の中を通って学校に繋がります。通学路となる公園内の通路も既存の通学路と同等の道幅を確保します。
6	近江高校通学路は、道幅が狭いのではないのか。	自転車の学生は降車して通行するなど、安全対策を行います。
土砂の搬入について		
7	ダンプの台数が100台と非常に多いが、トンネル工事とはどのような工事なのか。	彦根インターチェンジ近くのレストラン隣から国道8号線古沢町交差点を結ぶ県道のトンネル工事です。
8	搬入する土砂は、材料検査した上で安全性を確認するのか。	土質検査を行い、無害であることを確認した土砂を搬入します。有害な土砂は別途処分します。
9	1台ごとに土砂の検査を行うのか。	300m3の中から代表的なものを検査します。
擁壁および横断函渠工事について		
10	公園南側の県道は4車線道路だが、先の説明では2車線で説明されていた。2車線の差は何か。	迂回路として2車線を設置しますが、全体としては旧港湾側の2車線と公園側の2車線を合わせて4車線を確保します。
11	公園南側の県道は、交通量が非常に多いが事前に調査を行ったのか。	公安委員会と協議した上で設計しています。
12	行政は事故が起きてから対応するが、近隣住民は心配しているので、事前に事故が起きないよう手配すべき。	
13	迂回路の延長は何mになるのか。	迂回路の延長は、210m程度です。
14	歩道橋が使用できない間の代替措置として仮設橋を設置しないのか。また、迂回路に夜間照明を設置するのか。	工事中は歩道橋の代替施設はありません。 迂回路には安全確保のため照明を設置します。
連絡橋について		
15	連絡橋には既存の歩道橋と同様にスロープがつくのか。乗り降りする場所はどこか。	スロープ等を設置します。 乗り降りについては、県道両側にスロープを設置することに加え、県と市どちらの公園から行き来できるよう整備します。
16	連絡橋は、現在の歩道橋と旧港湾の橋の2つが一体の橋になるものと考えてよいのか。	お見込みのとおりです。
17	彦根市金亀公園の地盤と橋の高さの高低差が大きく感じる。	連絡橋の高さを極力低くするとともに、障害者に配慮した緩い勾配のスロープを設置します。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
松原町大黒前鴨ノ巣線道路改築工事について		
1	市道の施工延長は430mということだが、 県道彦根米原線と市道の接続部には工事を行 わないのか。	令和元年の施工区域に着色した資料でご説明 しましたが、県道との接続部についても同様の 仕様で整備します。また、この部分は、右折だ まりを設けることで道幅が広がります。
2	大黒川改修時の交通規制や代替道路の設置 はどのように計画しているのか。	できる限り通常どおり通行できるよう検討し ていますが、部分的に通行止めが発生すること もあります。
3	整備スケジュールが不明確に感じる。	スケジュールが確定次第ご説明します。
大黒川改修工事について		
4	大黒川の改修時期はいつか。	令和元年度は事業区域北側のマンション付近 の水路を整備します。令和2年度は事業区域南 側の護岸整備、令和3～4年度に道路整備と併 せて河川工事を行います。
5	大黒川の暗渠化について説明がなかった が、暗渠内の掃除は誰が行うのか。	暗渠部分は市が管理するため、市で掃除しま す。掃除する頻度は地元と相談します。
大洞川改修工事について		
6	公園東側沿いの大洞川改修区間より南側の 部分は整備しないのか。	今回の事業は、老朽化の激しい部分のみ工事 するもので、改修区間より南側は整備しませ ん。